

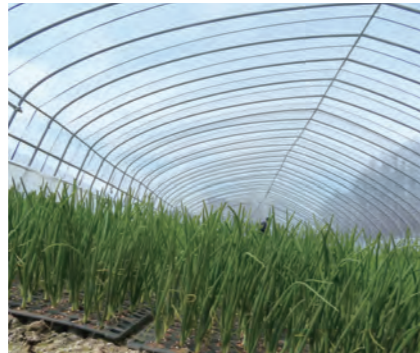
保温力強化マルチの効果確認試験

JAふらの

石田 広明



①0328サンパワー試験区



②0328サンパワー慣行区



③0328サンパワー試験区



④0328サンパワー試験区



⑤0328サンパワー慣行区

試験目的

保温力強化トンネル(農ポリ)の効果確認試験

試験作物 及び品種

玉ねぎ育苗(品種:SN3A、SN1、03、222)

試験資材 及び数量(規格)

サンパワーホットトンネル(0.05mm×460cm×100m) 2本

慣行資材

農ポリ(0.07mm×460cm×100m)

栽培方法

播種日

2月23日

田植日

4月27日

収穫日

8月5日

資材使用期間

慣行区:2月23日~4月5日

試験区面積

100坪

試験結果

(1)作業性について(慣行品との比較)

厚さ0.07mmの農ポリを使用しているため、慣行品より軽く作業しやすかった。

(2)作物の生育状況または、収穫への影響

育苗初期(芽出しまで)はシルバーポリトウ+トンネルを使用している。シルバーポリトウを剥がしたときは試験品のほうが成長していた。最終的な成長は変わりなかった。

(3)栽培管理上の優位点あるいは問題点について

【優位点】慣行品と比べ軽いのがメリット。

(4)促成・抑制効果について

育苗初期(シルバーポリトウ剥がし時)には慣行区より多少成長が早かった。

(5)保温効果について

保温効果は慣行品と比較してあったと感じる。

モニター感想

長が早かったため保温効果が慣行区より高いと感じた。

保温材が添加されている農ポリということで、价格的に優位性があれば検討したい。

慣行品と比べ、軽く使用しやすいというのはメリット。

JA担当者の感想(富良野支所生産資材課 松田氏)

価格の優位性があることが確認された。

継続して使用したい。

今後の使用について

慣行品と比べて軽く、使用しやすかった。